

本会議・予算委員会での質疑

●令和3年度水道事業会計予算

令和2年度水道事業会計補正予算（第3号）

「大規模断水の再発防止を求めろ」

質問 先般の大規模断水は市民生活に多大な影響を及ぼした。業務体制や再発防止策等について伺う。

答弁 角館地区での断水は、松木内川からの取水不具合によるもので、木々の枝などが取水管内部で一時的に詰まった可能性が考えられる。ポンプによる揚水等により対応を行ったが、水圧低下や濁り水が出るなど利用者に多大な迷惑をかけた。今後は、見回りを強化し、万一不具合が起こった際の初動を早めるなど対策を強化したい。各水道施設の維持管理や保守点検業務は市内3地区ごとに指名競争入札により民間委託している。委託業者は平日日中に各施設を巡回しているが、時間外の異常についても市と同様に対応している。

●令和3年度一般会計予算

「新型コロナウイルス迅速なワクチン接種を」

質問 ワクチン接種のスケジュールや接種体制（優先順位、場所、送迎等）について伺う。

答弁 開始時期はワクチンの供給次第だが、高齢者約11,000人への接種は3ヶ月を予定している。ファイザー社製のワクチンを21日の間隔をおいて2回接種する。最初の21日間で対象者の半数に接種し、次の21日目から2回目の接種を行う。これを2回繰り返す。その後同様の方法で、基礎疾患のある方と高齢者施設の従事者（合計約1,000人）に約1週間で接種を行い、次に一般の方々への接種となるが、期間は全体で6〜7ヶ月程度を要する予定としている。順番についてはコールセンターへの予約順となる。場所は田沢湖健康増進センター、角館交流センター、西木コミュニティセンターの3カ所を予定している。送迎は日ごとに重点地域を定めシャトルバスにより行いたい。

市議会議員定数 2名 削減 次期改選(令和4年5月)から定数16人へ ～ 3月19日 議員提出議案「仙北市議会議員の定数を定める条例」の改正を賛成多数で可決～

仙北市議会はこれまで議員定数の在り方について議論してきましたが、3月19日の本会議で定数削減に関する条例改正案が賛成多数で可決され、次期改選時より議員定数が現在の18名から16名へと2名削減されることが決定しました。議員定数については、「議会改革推進協議会」や「議会運営委員会」で慎重に協議の結果、市内の人口動態や経済情勢を勘案し、2名の削減を妥当とする答申が出されており、それを受け条例改正案の提案に至った次第です。賛成意見、反対意見の概要は次のとおりです。

賛成意見

- ◇市の人口は毎年約4～500人減少し続けている。現在の定数18名で4年経過後、さらに次期からも現行のままとした場合、8年間の人口減少数は4,000人とも推測される。こうした人口動態や総務省の定める類似団体の実態を勘案した場合、議会改革推進協議会の答申である定数2名減は妥当である。
- ◇定数2名減と政務活動費の廃止により、4年間で約4,800万円の費用削減となる。コロナ禍もあいまって地域経済は大変厳しい状況が続いているため、定数の削減はやむを得ない。

反対意見

- ◇定数削減により各地域から議員がいなくなり、市民の声が届きにくくなる懸念がある。
- ◇多様な人材が様々な視点で議論するためにも定数は多い方が良い。議会のチェック機能も弱まる。
- ◇定数削減により新たな挑戦者が立候補しづらくなるのではないか。若者や女性議員のなり手を増やすためにも間口は広い方が良い。
- ◇定数よりも報酬を削減するべきではないか。

議員定数2名削減案 本会議採決結果（議長は除く）

賛成	反対	結果
10	6	賛成多数で可決（賛否表は2ページに掲載）